



## 2023年1月 21日(土) 大山（丹沢山塊：1252m）

Report By Kumamoto

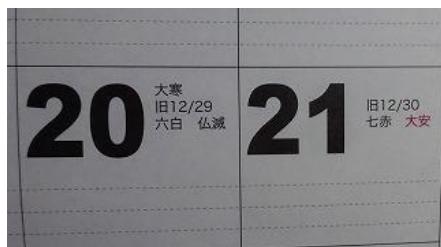
熊本は昨年7月の櫛形山登山依頼6か月以上、山から遠ざかっている。

2023年クマさん会初登山「大山」も都合が悪くパス。

空き時間と天気予報を見ながら様子を伺っていたが、20日朝の天気予報で翌21日(土)の午前中は晴れ間マークで、急遽「大山」に行くことを決断、池戸さんが同行を快諾してくれ二人で行くことにした。



ただ、6か月のブランクで脚力に自信がなく、最短距離コースの「ヤビツ峠—大山山頂ピストン」にした。



1月20日は大寒であり寒い。21日の朝5時のウエザーニュースでは午前中気温5度から8度で、風が風速9mとあり、体感温度は氷点下になりそうだ。完全防寒体制で出発する。海老名駅で「丹沢・大山フリーパス」を940円で購入。海老名—秦野間290円、秦野—ヤビツ峠間490円で往復1560円と620円もセーブでき40%割引と超割安切符でした。



海老名から秦野駅に向かう途中、小田急線の車窓からは、雲一つない青空に綺麗に「富士山」が雄姿を輝かせている。これは「大山」からも期待がもてるぞ！



秦野駅バス停で 8:40 分集合に、  
池戸さんと合流。



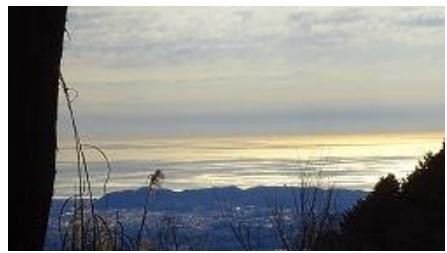
9:04 発ヤビツ峠行のバスには長蛇の列、熊本は最後の席で座れたが、池戸さんは残念ながら立席で・・・  
蓑毛で二人下車しただけだが、池戸さんも座れた。 ヤビツ峠まで約 40 分かかった。9:45 到着



ヤビツ峠バス停でトイレを済ませ、2, 3 分登ったところに  
レストハウスがあり、  
そこで出発準備を整え、スタート写真を撮る。  
9:50 出発



レストハウスから 30m 登るとベンチのある広場に出て、ここは蓑毛から登山道の合流点である。  
ここが「ヤビツ峠」だ・  
またこのヤビツ峠広場からは平塚の市街地、相模湾が一望できる。  
黄色い標識に「大山コース (Mo. 0) 」とあり、大山山頂への起点で山頂まで 2.3Km である。  
昨年の初登りでは山頂までの中間点付近で左足が吊ってしまい難儀した。  
今日は足が吊らないよう超スローペースを意識して登ろう。



九十九折の急登をユックリ登る。  
右手側に見える相模湾は陽に輝きを増していた。



15分程登ると「大山コース(No. 1)」が出てきた。峠から600m、山頂まで1.7kmの地点更に登るとこのコース唯一の鎖場だ。



鎖場に取りつく池戸さんと熊本



スタートから50分で「大山コース(No. 2)」にきた(10:40)。峠と山頂の中間点だ。  
北方向(右端写真)は青空が広がっており、富士山への期待が深まるのだが・・・・



長い木道を歩き終えるとフラットな登山道にでる、正面の北西方向は青空が広がっているが、

真西方向は雲が多く覆い、富士山は裾野の稜線が少し見えるだけだった。残念！！！！



11:35 阿夫利神社参道からの合  
流点に到着。大山コース (No. 4)



11:43 大鳥居の前で記念写真



11:47 に大山山頂 (1252m) に到着し予定の 10 分前だ。

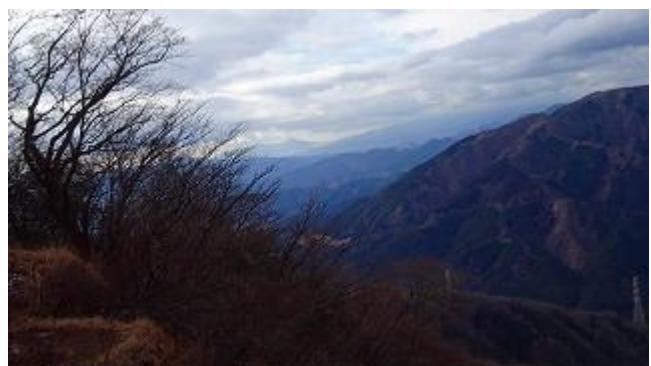
ユックリ登ったお陰で足も吊らずに無事制覇できた。6か月ぶりの感激だ。



山頂で昼食、天気予報が幸いにも外れて風は全くななく、気温5度だが、陽差しを浴びて暖かい。山頂は登山客の昼食で満杯、何とかベンチ二人分を確保できた。先ずは、登頂を祝して、サーモスに仕込んできた「熱燶」で乾杯だ！のんびり飲み、喰いして35分。12:30に下山開始。



山頂の奥の院で下山時の安全祈願をして参道からの分岐点まで下り、ヤビツ峠まで往路を戻る。



真鶴岬その先に伊豆半島が見えるが、富士山はまだ雲に隠れていた（右写真）



鎖場も無事通過し

一気に大山コース（No. 1）まで下り休憩



13:50 にヤビツ峠のレストハウス「丹沢 MON」に到着



バス待ちまでのコーヒータイムの予定であったが、ビールがあることが分かり、  
生ビールとおつまみセットで 1000 円コースを頼む。（トン汁あることが後でわかった）  
ゆったり、まったりの至福の約 30 分を過ごしバス停へ



14:34 発（午後便の一番）には長蛇の列となつたが、15 分前に並んでいた我々は問題なく座れ、  
秦野駅に向かった。レストハウスでビールを飲んでいるので、温泉はバスして直帰にした。

## 後記

熊本にとって、6か月振りの山歩きで、内心冷や冷やものであったが、池戸さんの  
サポートのお陰で、足も吊らずにヤビツ峠～大山山頂往復を達成できた。  
山歩きの楽しさを再認識した。これからも低山尾根歩きを自分に合ったスピード  
で、景色を楽しみ写真を撮りながらノンビリと楽しみたい。  
なお、今回の歩数は 16,288 歩であった。

